



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社ドリームインキュベータ 上場取引所 東  
 コード番号 4310 URL http://www.dreamincubator.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 堀 紘一  
 問合せ先責任者 (役職名) マネジャー (氏名) 上村 敏弘 TEL 03(5532)3200  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	12,824	18.6	1,569	128.0	1,614	123.7	870	243.9
29年3月期第3四半期	10,814	11.8	688	91.2	721	88.2	253	89.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 816百万円 (65.8%) 29年3月期第3四半期 492百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	89.55	87.87
29年3月期第3四半期	25.64	25.07

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	19,184	11,782	55.9
29年3月期	17,348	10,967	56.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 10,717百万円 29年3月期 9,859百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	0.00	0.00	0.00	3.00	3.00
30年3月期	0.00	0.00	0.00	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成30年3月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの事業は、戦略コンサルティング事業及びインキュベーション事業から構成されております。戦略コンサルティング事業は安定性が高い一方、インキュベーション事業の一部については売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただきます。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	10,271,500株	29年3月期	10,244,300株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	530,250株	29年3月期	532,791株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	9,721,131株	29年3月期3Q	9,874,076株

(注) 当社は、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入しております。BIP信託口及びESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 営業の状況	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社及び当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は12,824百万円（前年同四半期比18.6%増）、経常利益は1,614百万円（前年同四半期比123.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は870百万円（前年同四半期比243.9%増）となりました。

前連結会計年度より、事業区分の名称を「コンサルティング事業」から「戦略コンサルティング事業」に変更しております。なお、事業名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

#### (戦略コンサルティング事業)

戦略コンサルティング事業では、大企業や政府向けの戦略コンサルティングに加え、構想の実現に向けた仲間・ルール作り、社内外ドライブまでハンズオンで支援するプロデュース支援、M&Aファイナンシャル・アドバイザー、経営幹部育成支援を提供しております。

戦略コンサルティング事業（セグメント）においては、前年同四半期と比べると売上高が5.2%減少となりました。これは、前年同四半期に計上した海外企業からの大型受注がなかったことが要因で、国内においては順調に成長しております。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,306百万円（前年同四半期は2,433百万円）、セグメント利益（営業利益）は1,245百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）1,414百万円）となりました。なお、第4四半期に向けた仕込の積み上がりは順調であります。

#### (インキュベーション事業)

インキュベーション事業は、営業投資セグメント、保険セグメント、その他の各セグメントにより構成されております。

営業投資セグメントにおいては、新規投資活動として、デジタルメディアを中心とした国内投資に加え、提携先ベンチャーキャピタルや既存投資先との連携による海外投資を実行しました。

また、既存投資先に関しては、当社が深く支援することで成長加速が見込まれるステージにおいて資金と人材を投入し、それ以降は売却を進めております。

当第3四半期連結累計期間において、1社が新規にIPOを果たした結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,468百万円（前年同四半期は956百万円）、セグメント利益（営業利益）は861百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）190百万円）となりました。

保険セグメントとは、連結子会社であるアイペット損害保険株式会社が運営するペット向け医療保険を指します。当第3四半期連結累計期間において、ペット向け医療保険の加入件数は順調に増加し、売上は順調に拡大しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,953百万円（前年同四半期は7,366百万円）、セグメント利益（営業利益）196百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）354百万円）となりました。

なお、今後の事業規模拡大に向けて基幹システムを開発しておりましたが、開発作業の遅延に伴い今後の開発計画を見直しました。その結果、固定資産除却損256百万円を特別損失として計上しております。

その他セグメントには、アジア各国におけるマーケティングセグメント等が含まれております。オンライン調査の展開に十分な会員数を確保できたため、日本における営業活動を本格化させ、受注が拡大した一方で、今後の更なる拡大に向けた海外拠点の設立費用等62百万円を計上した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は122百万円（前年同四半期は58百万円）、セグメント損失（営業損失）は99百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）36百万円）となりました。

以上の当社及び当社グループの売上をまとめると以下のとおりです。

区分	第17期 第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		第18期 第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
戦略コンサルティング事業(セグメント)	2,433	22.5	2,306	18.0
インキュベーション事業	8,381	77.5	10,545	82.2
(内訳)				
営業投資セグメント	956	8.8	1,468	11.5
保険セグメント	7,366	68.1	8,953	69.8
その他セグメント	58	0.5	122	1.0
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	△27	△0.2
合計	10,814	100.0	12,824	100.0

(2) 財政状態に関する説明

連結貸借対照表

当第3四半期連結会計期間における資産は19,184百万円(前連結会計年度末比1,836百万円増)、負債は7,401百万円(同1,021百万円増)、純資産は11,782百万円(同815百万円増)となっております。

前連結会計年度末比での資産の増加の主な理由は、収益の拡大等による売掛金の増加等が挙げられます。

負債の増加の主な理由は、保険業法に基づく保険契約準備金の増加等が挙げられます。

純資産の増加の主な理由は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が挙げられます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

戦略コンサルティング事業は、既存顧客への戦略コンサルティングやプロデュース支援に引き続き注力すること  
で、前連結会計年度に対して継続成長を見込んでおります。

インキュベーション事業の保険セグメントは、前連結会計年度に対して継続成長を見込んでおり、また、連結子  
会社であるアイペット損害保険株式会社に関しましては、上場に向けた準備を進めております。

その他セグメントにおいて、アジア各国におけるマーケティングセグメントについては、今後の更なる受注拡大  
に向けて海外拠点への先行投資を行った結果、費用が増加しておりますが、受注は増加傾向にあり、四半期期間で  
の黒字化が近い状況であります。

営業投資セグメントにつきましては、投資先ベンチャーの内、1社が新規にIPOを果たし、更にトレードセール  
等による回収を見込んでおります。しかし、売上高が株式の売却によってもたらされることから、株式市況やIPO  
動向に伴い振幅するため、四半期毎に売上高が増減する状況が続くと考えており、通期業績予想の公表は難しい状  
況であります。

なお、営業投資セグメントを除くその他の各セグメントについては、当第3四半期連結会計期間末現在、概ね予  
定通り推移しております。

(4) 営業の状況

(生産実績)

当社及び当社グループは生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

(受注実績)

当第3四半期連結累計期間における受注実績は次のとおりであります。

なお、営業投資セグメントにつきましては、受注という概念がございませんので記載しておりません。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	前年同四半期比 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
戦略コンサルティング事業 (セグメント)	3,097	2,719	△12.2
インキュベーション事業	7,425	9,088	22.4
(内訳)			
保険セグメント	7,366	8,953	21.5
その他セグメント	58	135	130.1
合計	10,523	11,807	12.2

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 各セグメントの金額は、セグメント間の取引を含んでおります。

(販売実績)

当第3四半期連結累計期間における販売実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
戦略コンサルティング事業 (セグメント)	2,306	△5.2
インキュベーション事業	10,545	25.8
(内訳)		
営業投資セグメント	1,468	53.6
保険セグメント	8,953	21.5
その他セグメント	122	109.4
セグメント間の内部売上高又は振替高	△27	—
合計	12,824	18.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(投資実績)

証券種類	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)				当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)			
	投資実行高		期末投資残高		投資実行高		期末投資残高	
	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)
株式・出資金等	921	14	5,163	44	944	19	5,892	53
新株予約権等	—	1	0	14	—	3	0	13
合計	921	15	5,163	53	944	22	5,892	61

- (注) 1 新株予約権等は、当社コンサルティングサービスの対価として発行会社から無償で取得している場合がありますが、上表においては、その際の金額をゼロとし会社数のみを記載しております。
- 2 株式、新株予約権等を重複して投資を行っている会社があります。
- 3 時価のあるものについては、取得原価を記載しております。
- 4 上表には余剰資金の運用目的の有価証券及び投資有価証券は含まれておりません。
- 5 当社グループは、未公開時点では投資をしていなかったPost-IPO企業の株式をIPO後に取得する場合がありますが、上表には当該投資金額及び会社数は含まれておりません。
- 6 期末において保有している新株予約権等を全て行使した場合の株式取得価額の総額は、以下のとおりであります。

前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間
345百万円	259百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,409	6,694
受取手形及び売掛金	2,074	2,366
営業投資有価証券	5,131	6,270
投資損失引当金	△490	△490
たな卸資産	12	14
繰延税金資産	501	412
未収入金	38	30
その他	346	415
貸倒引当金	△32	△27
流動資産合計	14,990	15,686
固定資産		
有形固定資産	159	213
無形固定資産		
のれん	462	377
その他	447	294
無形固定資産合計	909	672
投資その他の資産		
投資有価証券	785	2,073
長期貸付金	136	124
その他	447	496
貸倒引当金	△82	△81
投資その他の資産合計	1,288	2,612
固定資産合計	2,357	3,498
資産合計	17,348	19,184



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	100	100
リース債務	2	8
未払金	326	325
保険契約準備金	4,601	5,533
支払備金	632	838
責任準備金	3,969	4,695
未払法人税等	432	362
繰延税金負債	3	6
賞与引当金	174	141
役員賞与引当金	16	18
その他	256	420
流動負債合計	5,912	6,917
固定負債		
長期借入金	325	250
リース債務	4	28
繰延税金負債	5	2
株式給付引当金	131	200
その他	1	2
固定負債合計	467	484
負債合計	6,380	7,401
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,915	4,927
資本剰余金	3,774	3,787
利益剰余金	2,289	3,129
自己株式	△951	△947
株主資本合計	10,027	10,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△90	△108
為替換算調整勘定	△76	△70
その他の包括利益累計額合計	△167	△178
新株予約権	81	73
非支配株主持分	1,026	991
純資産合計	10,967	11,782
負債純資産合計	17,348	19,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	10,814	12,824
売上原価	5,360	5,743
売上総利益	5,453	7,081
販売費及び一般管理費	4,765	5,511
営業利益	688	1,569
営業外収益		
受取利息	7	12
受取配当金	1	17
投資有価証券売却益	—	20
為替差益	18	1
貸倒引当金戻入額	0	5
その他	18	6
営業外収益合計	46	63
営業外費用		
支払利息	3	1
敷金解約損	6	—
支払補償費	—	9
その他	2	6
営業外費用合計	12	18
経常利益	721	1,614
特別利益		
新株予約権戻入益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	—	256
特別損失合計	—	256
税金等調整前四半期純利益	722	1,358
法人税、住民税及び事業税	342	496
法人税等調整額	△4	28
法人税等合計	337	525
四半期純利益	384	833
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	131	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益	253	870

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	384	833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	△22
為替換算調整勘定	17	6
その他の包括利益合計	107	△16
四半期包括利益	492	816
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	358	859
非支配株主に係る四半期包括利益	134	△42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月10日 取締役会	普通株式	122	12	平成28年3月31日	平成28年6月14日	利益剰余金

(注) 平成28年5月10日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金3百万円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月11日 取締役会	普通株式	30	3	平成29年3月31日	平成29年6月13日	利益剰余金

(注) 平成29年5月11日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金0百万円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	戦略コンサル ティング セグメント	営業投資 セグメント	保険 セグメント	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,433	956	7,366	10,755	58	10,814	-	10,814
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,433	956	7,366	10,755	58	10,814	-	10,814
セグメント利益 又は損失(△)	1,414	△190	354	1,579	△36	1,542	△854	688

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△854百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での営業活動に関わる費用及び一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	戦略コンサル ティング セグメント	営業投資 セグメント	保険 セグメント	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,302	1,468	8,953	12,725	99	12,824	-	12,824
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	4	-	-	4	23	27	△27	-
計	2,306	1,468	8,953	12,729	122	12,852	△27	12,824
セグメント利益 又は損失(△)	1,245	861	196	2,304	△99	2,205	△635	1,569

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△635百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での営業活動に関わる費用及び一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来の「コンサルティングセグメント」から「戦略コンサルティングセグメント」にセグメント名称を変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。